

ダイヤモンド就活ナビ2021 就職モニターレポート4月調査

【調査概要】

- ◆調査対象 2021年3月卒業予定の大学院生・大学生
- ◆有効回答 313名
- ◆調査期間 2020年4月10日（金）～2020年4月20日（月）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

【回答学生の内訳】

文系	理系
252名 (80.5%)	61名 (19.5%)

【回答の多かった学生】

立教大学、早稲田大学、慶応義塾大学、
関西学院大学、神戸大学、上智大学、
中央大学、法政大学、同志社大学、
東京大学、東京外国語大学、
東京女子大学、東洋大学、日本大学

【大学エリア別回答学生数】

北海道	37	11.9%
東北エリア	5	1.6%
関東エリア	151	48.2%
甲信越エリア	7	2.2%
東海・北陸エリア	21	6.7%
関西エリア	63	20.1%
中・四圏エリア	28	9.0%
九州・沖縄エリア	1	0.3%
総計	313	100.0%

<就職活動の進行状況>

現在の採用選考の進捗は「エントリーシート提出」(78.3%)がトップ。
「まったく活動していない」(8.3%)が昨対比+4.3ポイントの一方で「内定獲得」は20.8%と昨年とほぼ同じで、平均社数も1.2社と横ばい。

<エントリー/説明会・セミナー/選考(エントリー・筆記・適性テスト)>

- 【プレエントリー】 平均社数は28.4社
- 【個別企業セミナー】 平均社数は9.7社
- 【合同企業セミナー】 学内セミナー：平均4.1回 学外セミナー：平均4.0回
- 【エントリーシート】 平均提出社数は11.4社
- 【筆記・適性テスト】 平均受験社数は8.1社

<就職活動観>

今、抱えている悩み(不安)は「就職できるか非常に不安」(61.0%)がトップ。
就職活動の環境について「苦戦するかもしれない」(41.7%)、「展望が見えず悲観的だ」(41.0%)が共に4割越え。
企業選択基準は「社風がよい」(55.8%)、入社企業選択基準は「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」(35.7%)がそれぞれトップ。

【本調査に関するお問い合わせ】



株式会社
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

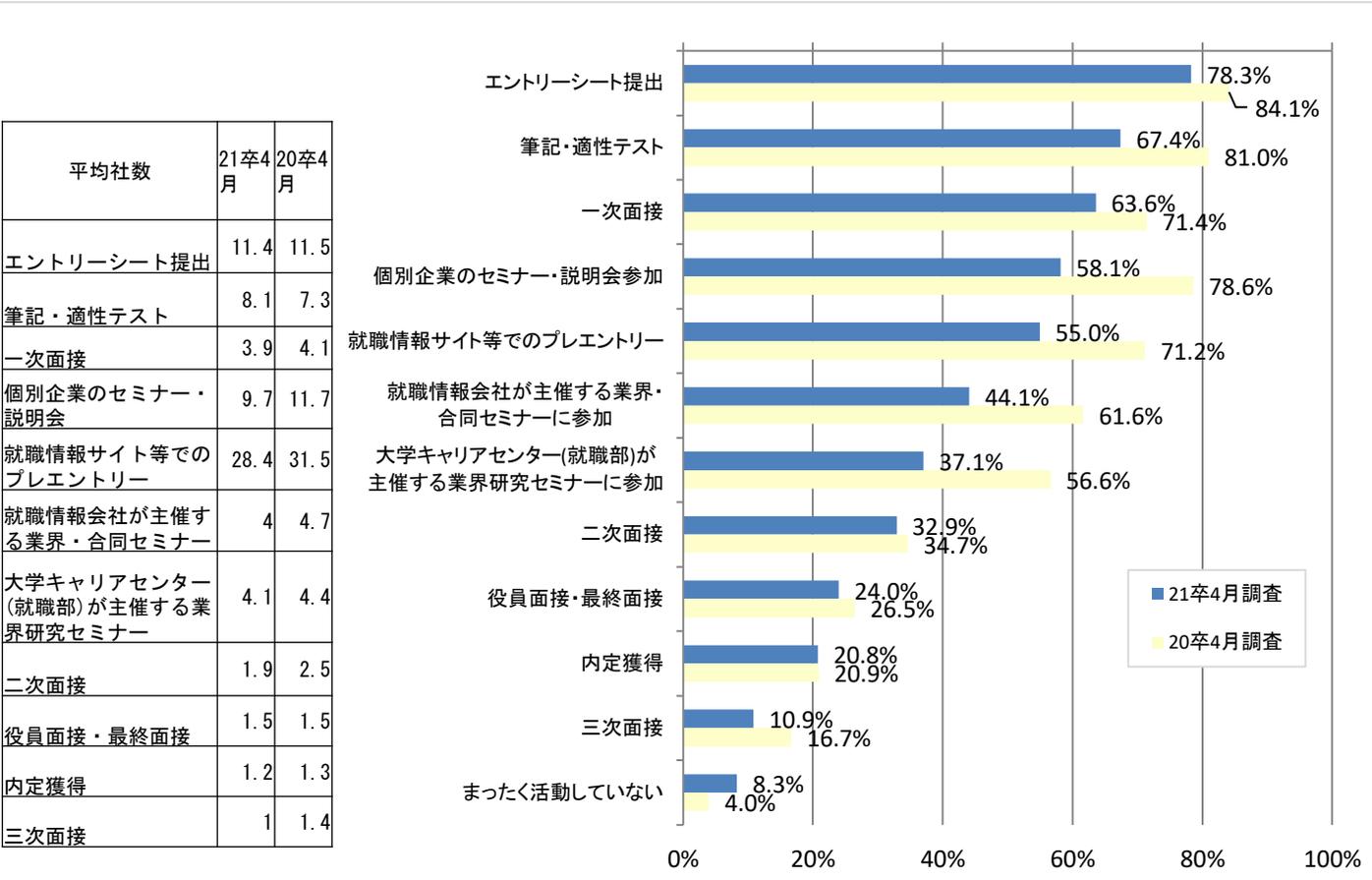
経営企画室

TEL : 03-5319-2450

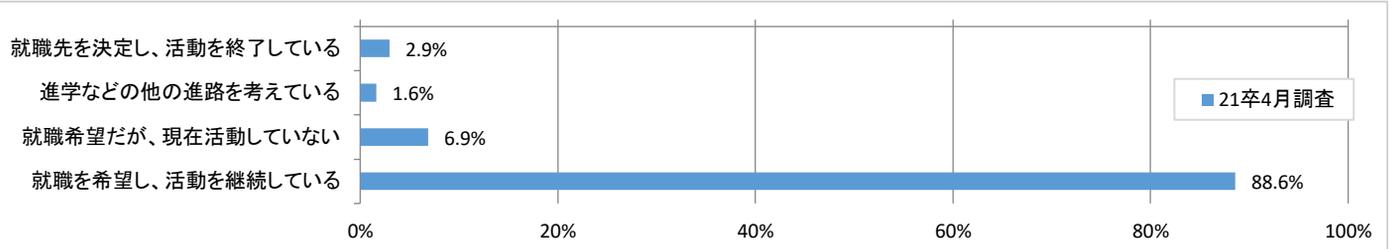
E-mail : marketing@diamondhr.co.jp

就職活動の進行状況

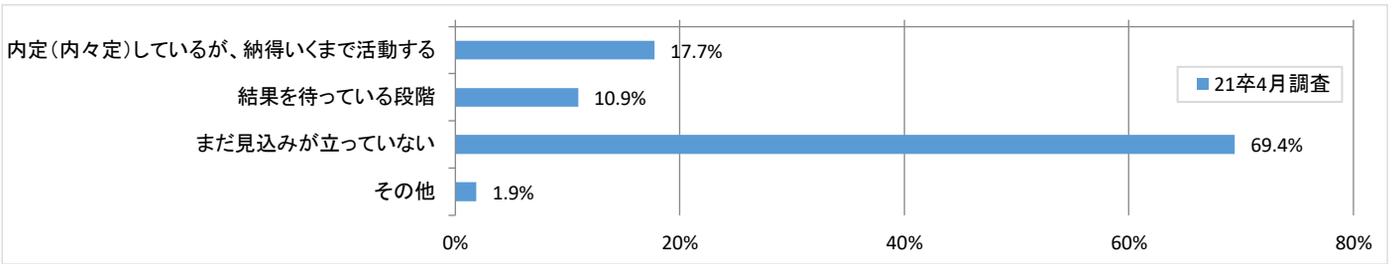
◆現在の採用選考の進捗状況について、当てはまるものを全て選択してください



◆現在の就活状況について、最も当てはまるものを1つだけ選択してください。



◆現在の就活結果見込み状況について、最も当てはまるものを1つだけ選択してください。

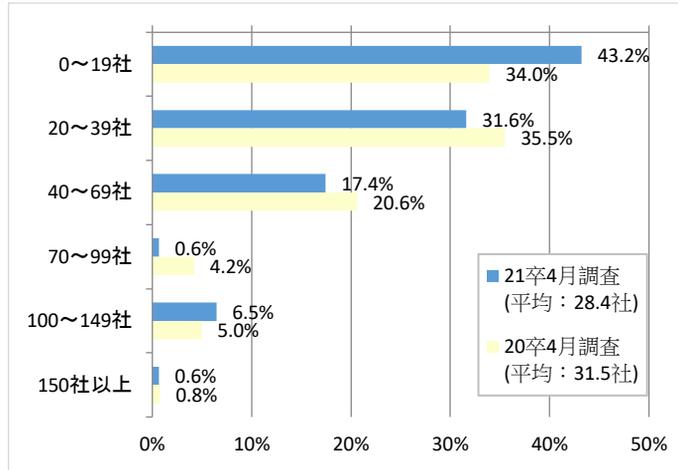


現在の採用選考の進捗は「エントリーシート提出」(78.3%)がトップ、「まったく活動していない」(8.3%)が昨年より4.3ポイント増。現在の就活状況は「就職を希望し、活動を継続」(88.6%)、就活結果見込み状況は「まだ見込みが立っていない」(69.4%)がそれぞれトップ。

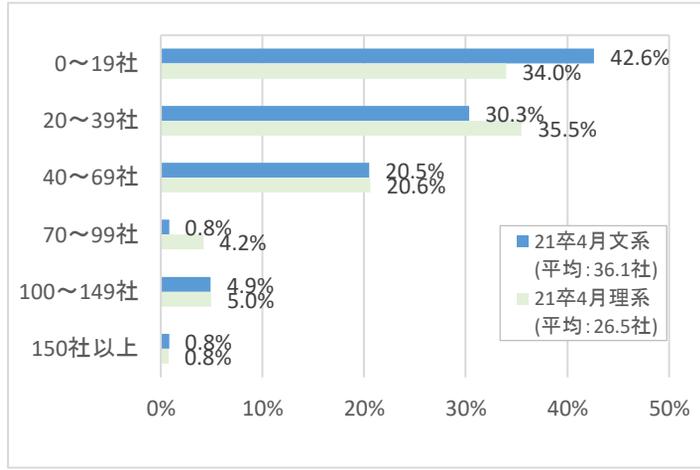
就職活動の進行状況は「エントリーシート提出」(78.4%)がトップになった。しかし、昨年の84.1%より5.7ポイント減少している。どの項目も昨年より減少するなか「まったく活動していない」(8.3%)が昨対比+4.3ポイント増加した一方で「内定獲得」は20.8%と昨年とほぼ同じで、平均社数も横ばいとなった。現在の就活状況は「就職を希望し、活動を継続している」(88.6%)、結果見込み状況では「まだ見込みが立っていない」(69.4%)がそれぞれトップとなった。

エントリー状況

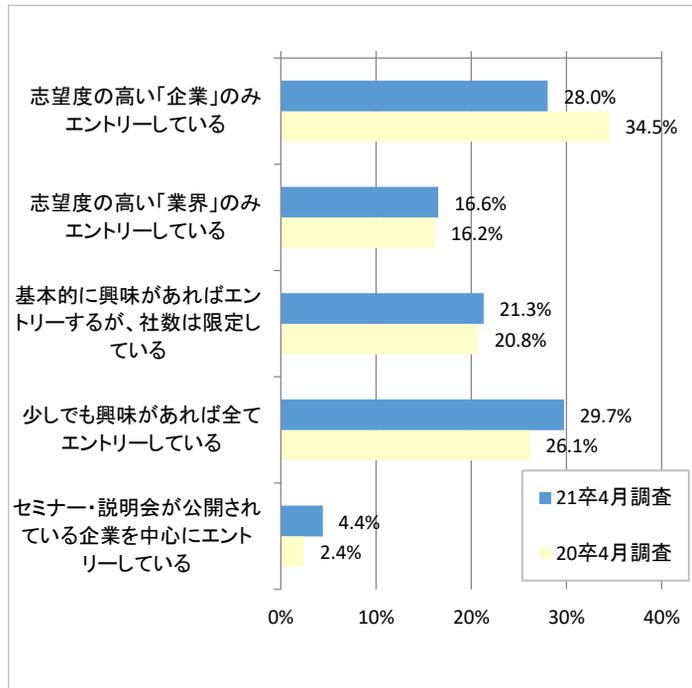
◆就職情報サイト等でのプレエントリーを教えてください



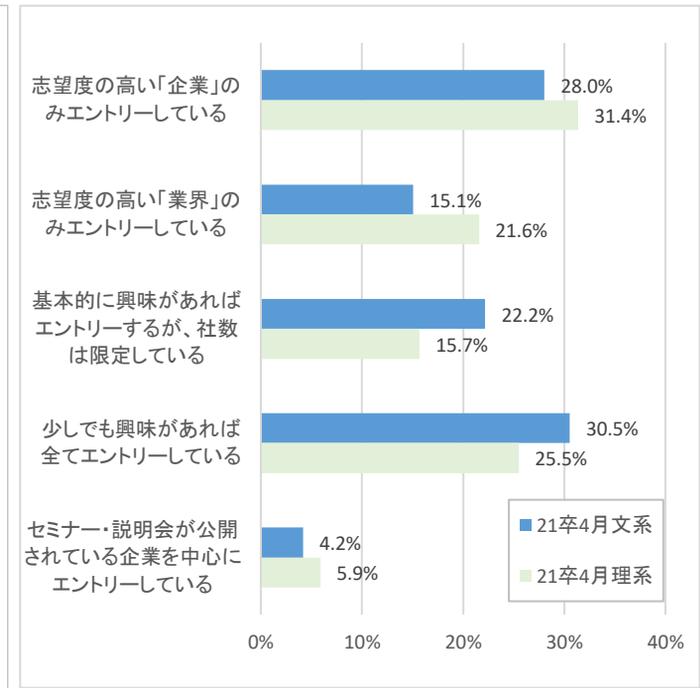
(21卒文理別)



◆企業にエントリーする際の基準を教えてください



(21卒文理別)



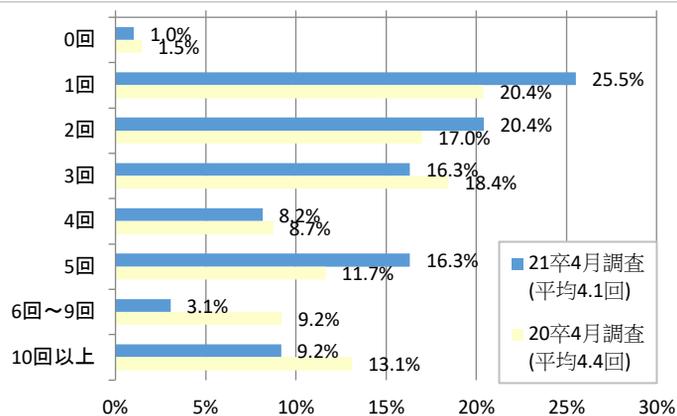
平均エントリー数は28.4社と、昨年より▲3.1社。エントリーについては「少しでも興味があれば全て」(29.7%)がトップを占める。

学生一人当たりのエントリー社数は平均28.4社となり、昨年の平均31.5社よりも3.1社減少している。エントリーする企業対象が絞られている傾向が見られる。「0~19社」(43.2%)のゾーンがトップとなっていることからその傾向が見えてくる。文理別にみると文系が平均36.1社、理系が平均26.5社となっている。一人当たりのエントリー社数は文系では「0~19社」(42.6%)、理系では「20~39社」(35.5%)が最も多くなっている。

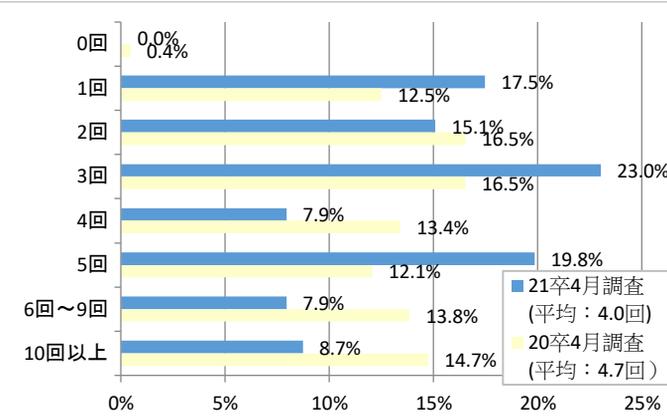
企業にエントリーする際の基準は「少しでも興味があれば全てエントリーしている」(29.7%)がトップとなり、昨年もっとも多かった「志望度の高い「企業」のみエントリーしている」は28.0%と逆転した。文理別に見ると文系では「少しでも興味があれば全てエントリーしている」(30.5%)がトップ、理系では「志望度の高い「企業」のみエントリーしている」(31.4%)がトップとなった。

説明会・セミナーの参加状況

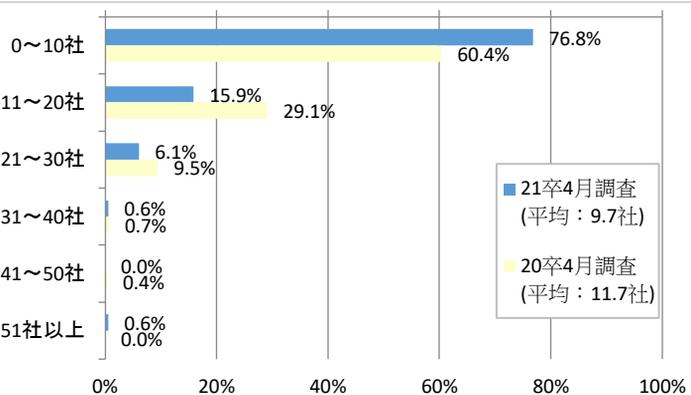
◆【学内】キャリアセンターが主催するセミナー参加回数



◆【学外】就職情報会社が主催するセミナーの参加回数



◆個別企業の説明会・セミナー参加社数

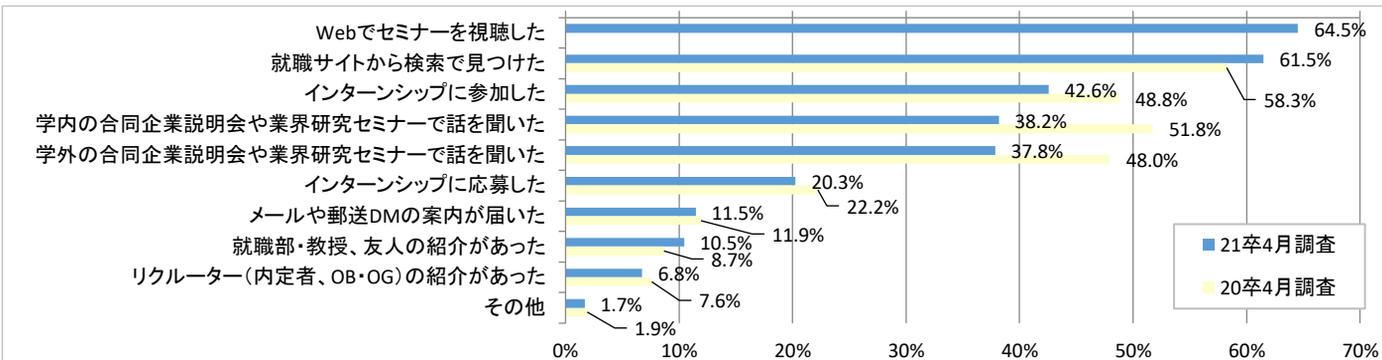


個別企業のセミナー参加者数は平均9.7社、合同セミナー参加平均は学内：4.1回、学外：4.0回。Web形式のセミナー・説明会・面接大活躍。

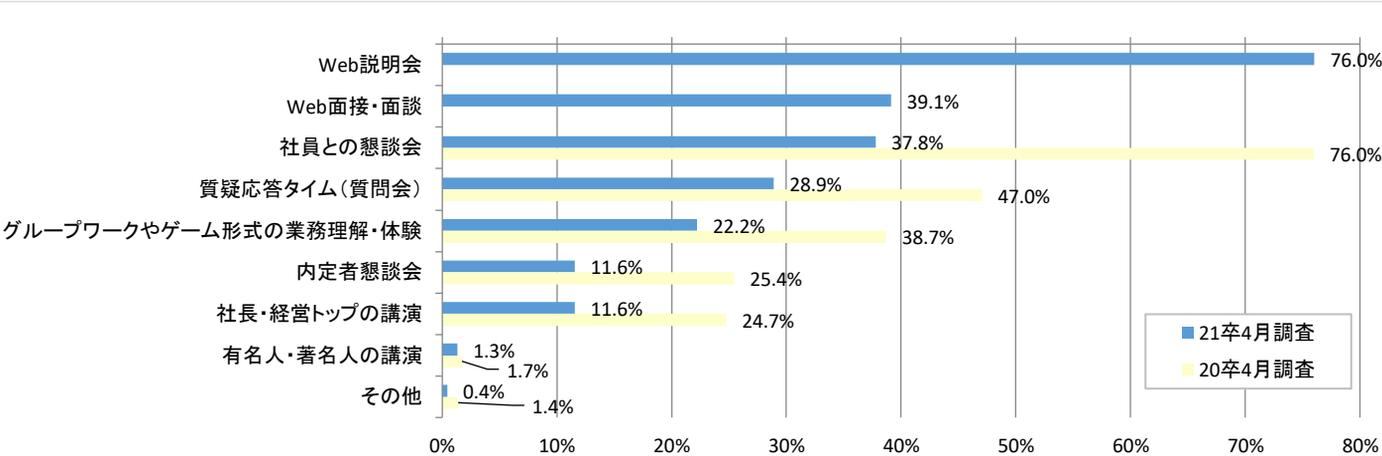
学内セミナーの参加回数は平均4.1回となり、昨年の4.4回より0.3回減少した。学外セミナーの参加回数は平均4.0回となり、こちらも昨年平均の4.7回より0.7回減少している。個別企業の説明会・セミナーの平均参加社数は9.7社（昨年比▲2.0社）と、コロナウイルスの影響が減少が大きくなった。

個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは「Webでセミナーを視聴した」が64.5%でトップ、企業の説明会・セミナーで役に立ったのは「Web説明会」（76.0%）、「Web面接・面談」（39.1%）とWebは就活に不可欠なツールとなっているようだ。

◆個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは何ですか？



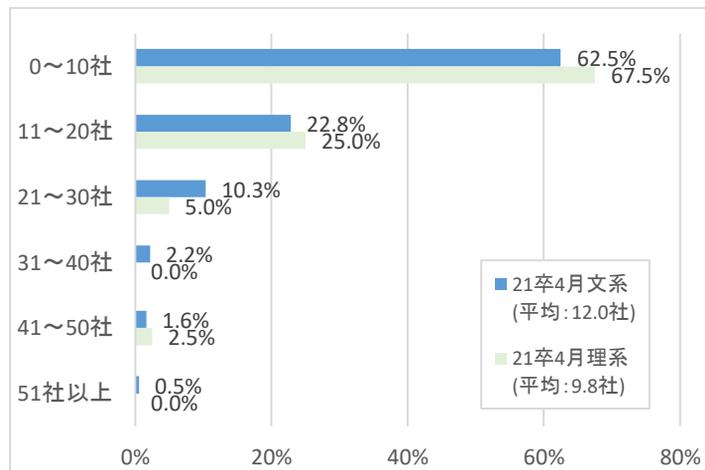
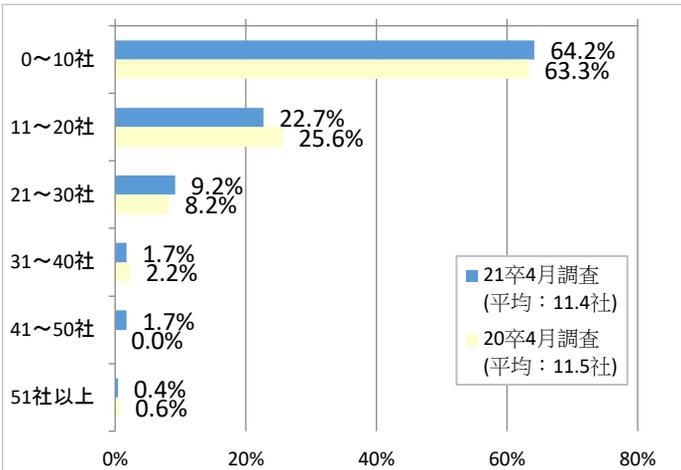
◆現在までに参加した企業の説明会・セミナーで役に立ったと思われる内容をご回答ください。



選考(エントリーシート/筆記・適性テスト)状況

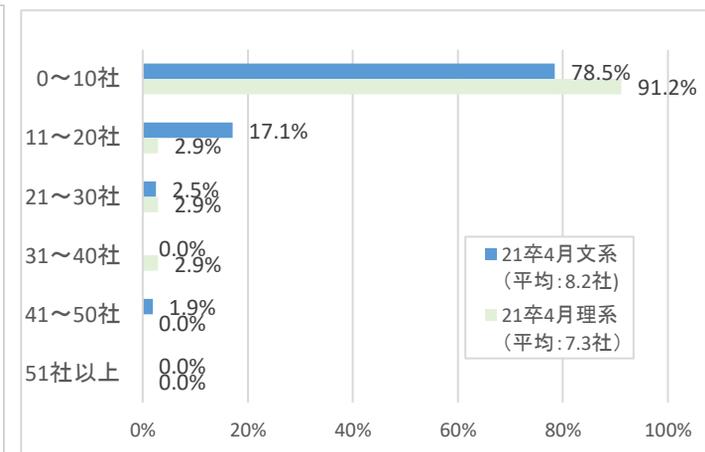
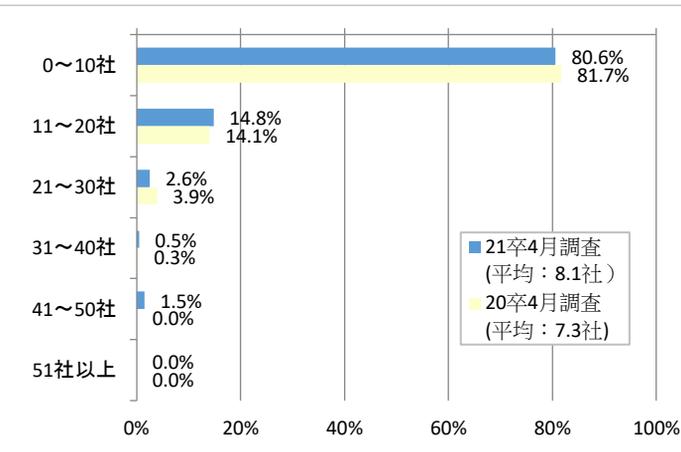
◆エントリーシートの提出社数

(21卒文理別)

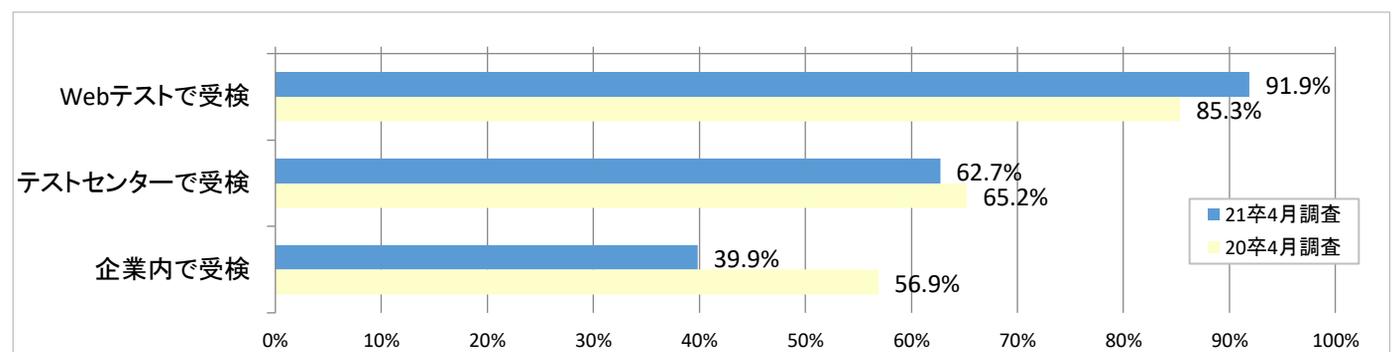


◆筆記・適性テストの受験社数

(21卒文理別)



◆筆記・適性テストの受験方法(複数回答)



【エントリーシートの提出社数】 平均提出社数：11.4社。昨年平均11.5社とほぼ同じ。
 【筆記・適性テスト受験社数】 平均受験社数：8.1社。昨年平均7.3社より0.8社増。
 受験方法は「Webテストで受験」(91.9%)がトップ。

【エントリーシート】

1人当たりの平均提出社数は11.4社で、昨年平均の11.5社とほぼ同数になった。文理別に見ると、文系が平均12.0社、理系が平均9.8社と、文系の方が理系に比べて2.2社平均の提出社数が増えている。

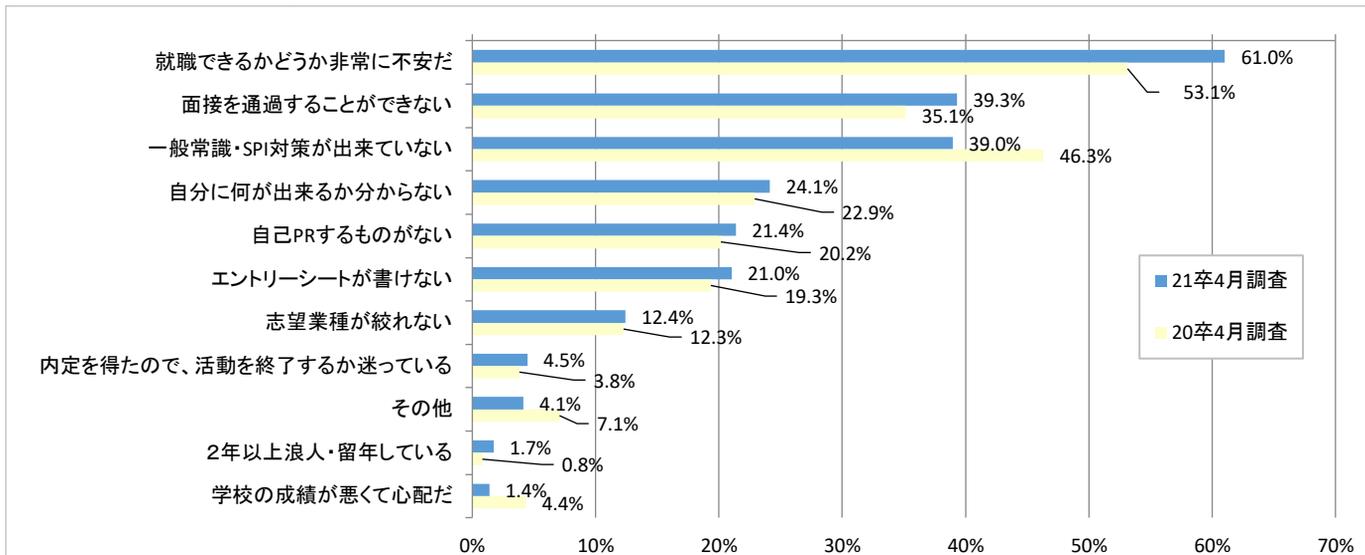
【筆記・適性テスト】

1人当たりの平均受験者数は8.1社で、昨年平均の7.3社よりも0.8社増加した。文理別に見ると、文系が平均8.2社、理系が平均7.3社と、エントリーシート同様に文系の方が社数が多く、0.9社の差が開いている。

筆記・適性テストの受験方法は「Webテストで受験」(91.9%)がトップを占めた。9割以上の学生がWebテストで回答したと回答している。

就職活動観

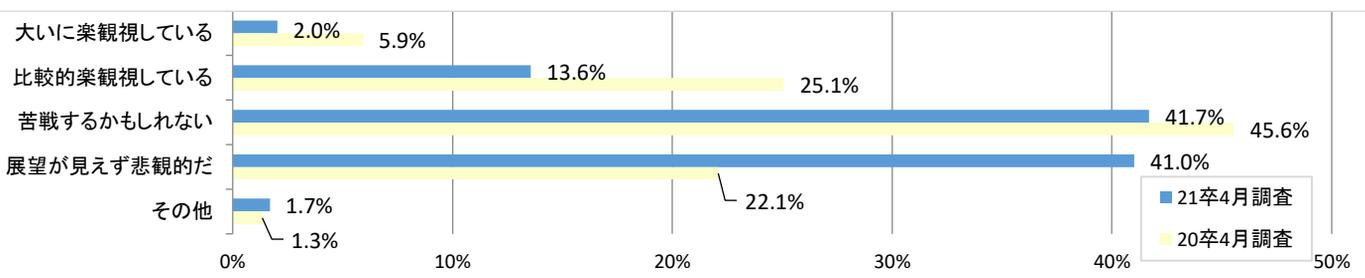
◆今、抱えている悩み(不安)は何ですか？



「就職できるか非常に不安」(61.0%)がトップ、次に「面接を通過することができない」(39.3%)、「一般常識・SPI対策が出来ていない」(39.0%)と、選考に対する不安が続く

今抱えている悩み(不安)は「就職できるか非常に不安だ」(61.0%)が6割以上もの回答でトップを占めた。昨年の53.1%より7.9ポイント増加している。その次には「面接を通過することができない」(39.3%)、「一般常識・SPI対策が出来ていない」(39.0%)が来ており、どちらも4割近い学生の回答となった。面接と学力テスト対策に不安を感じる学生が多い。

◆就職活動の環境について、どのような感想をお持ちですか？



◆新型コロナウイルス感染症の流行によって就職活動で困っていることがあれば教えてください。

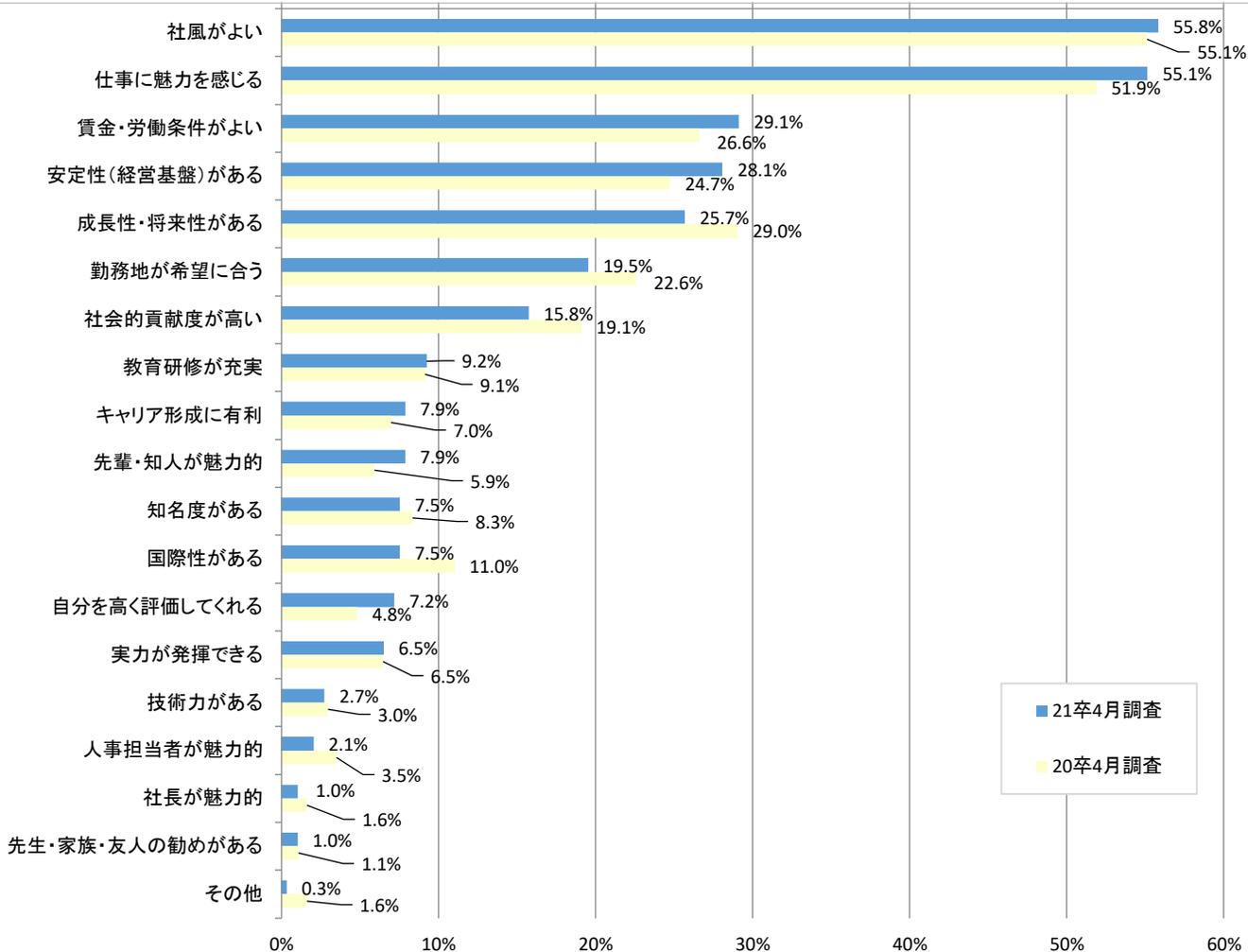
面接が延期になりweb面接に切り替わった。web面接の対策がわからない
実際のオフィスの雰囲気を知ることができない。
大学が入構禁止になり、学生寮内に常に人がいてうるさくて迷惑。スキャナーやコピー機も使いたいが使えない。WEB面接用のスペースがせつかくできたのにそこも入れない。面接中に隣人の音や声が入ったらと思うと不安になる。
面接の結果や書類選考の結果の連絡が遅くなっているように感じる。
不合格だからなのか、新型コロナウイルスの影響で業務が滞っているからなのか判断がつかず戸惑いや不安を覚える。
遅れたり延期をするのならばその旨、またいつまでに連絡をしてもらえるのか、一報が欲しい。
企業情報を集める手段として、以前のものでもいいからWEBでの説明会をしてもらいたい。
説明会などの見通しが立たない。採用人数減少の恐れ。首都圏での就職は諦めざるを得ない。
採用が長引くため卒論に支障が出そう
周りの学生がこの長期化の休みで、就職活動を進めているかわからず、もし、進めているとしたら差が開いてしまうこと。
また、新型コロナウイルスの影響で採用人数を減らす企業や、採用しない企業が増えてきたら、就職できる確率も減ってしまう可能性があり不安です。
大学に入れないため、直接会っての面接練習ができない
先が読めず、会社自体に入っても内定取り消しに会うのでは無いかと心配 就職ができないのでは無いかと心配
学生時代にやりたかったことができず、さらに1年(以上)学生でいるべきか迷っている
企業より病院志望だが、新型コロナウイルスで現場が困難だと思うので今後どうなるのか心配である。

就職活動の環境について「苦戦するかもしれない」(41.7%)、「展望が見えず悲観的だ」(41.0%)が共に4割越え、新型コロナウイルス感染症の流行による困難も含め、「苦戦」の声大きい

就職活動の環境について「苦戦するかもしれない」(41.7%)、「展望が見えず悲観的だ」(41.0%)とこの2つが4割以上の回答で他の回答割合と大きく差をつけている。また、新型コロナウイルス感染症の流行によって就職活動で困っていることもWeb面接への対策や採用スケジュール、企業研究への不安などいかに苦戦しているかが感じられる。

就職活動観

◆企業を選ぶ基準は何ですか？現在の考えに近いものを3つお答えください。



◆どんな企業に入社したいと思いますか？現在の考えに近いものを教えてください



企業を選ぶ基準は「社風がよい」(55.8%)、「仕事に魅力を感じる」(55.1%)が5割以上
入社企業選択基準は「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」(35.7%)がトップ

企業を選ぶ基準は「社風がよい」(55.8%)、「仕事に魅力を感じる」(55.1%)と昨年同様5割以上を占めている。
入社したい企業は「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」(35.7%)がトップとなり、昨年34.7%より1ポイント増加した。その次に「できるだけ大手企業に行きたい」(34.0%)が続き、こちらは昨年の37.1%より▲3.1ポイントとなった。昨年は「できるだけ大手企業に行きたい」が37.1%で1位、「やりがい、適性が合えば企業規模は問わない」が34.7%で2位だったが、今年はこの2つの回答結果割合が逆転した。